

家畜衛生情報

ハエの発生を防ぎましょう！！

- 基本は自由に動き回れない卵・幼虫・蛹の対策です -

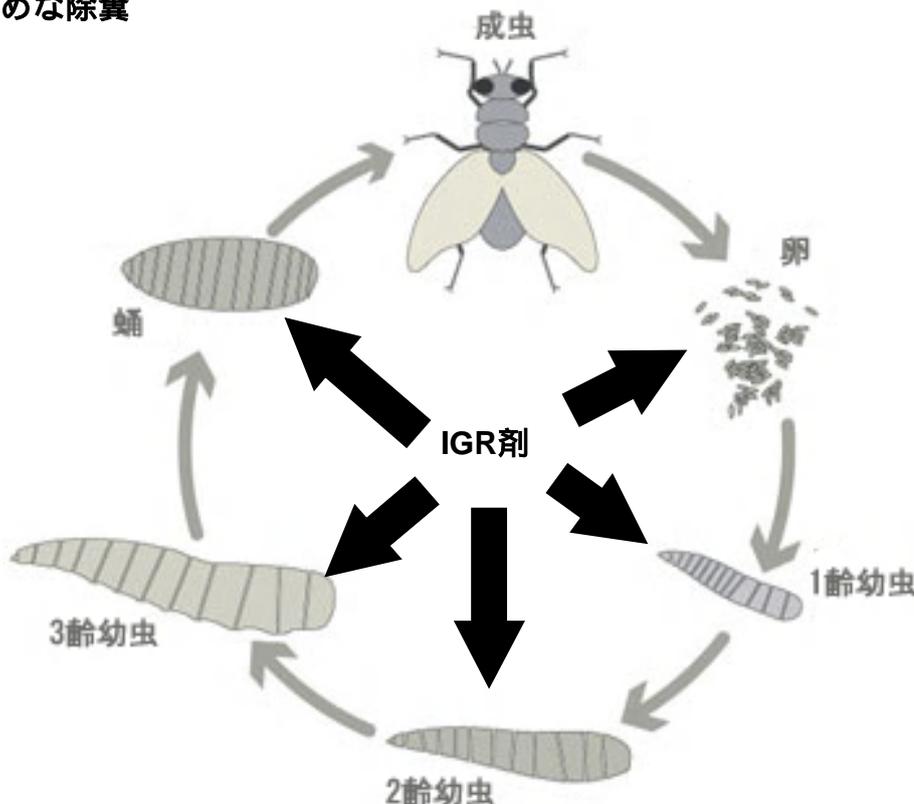
<ハエ防除薬剤> 主な殺虫剤の種類は以下のものがあります。(裏面)

- 1 有機リン系 速効性のもの、遅効性のもの、残効性のあるものもあり、広く使用されている。神経毒。
- 2 カーバメイト系 塩素とリンが含まれている化合物で、殺虫力と速効性に優れるが、毒性がかなり高い。
- 3 ピレスロイド系 除虫菊製剤で速効性があるためハエ駆除の空中散布に多用。残効性は一般的に少ない。
- 4 脱皮阻害剤等 IGR剤と呼ばれ、蛆を成虫にさせない殺虫剤。



<幼虫の駆除>

- 1 IGR剤の使用
IGR剤を成虫が卵を産む場所に幼虫がいる場所に丁寧に満遍なく散布する。幼虫が存在する発生源を的確に見つけ出すことが重要です。発生源にもれなく散布してください。
- 2 糞の適度な乾燥(糞の水分を70%以下に抑えるように)
- 3 こまめな除糞



図と写真はNovartis Animal Healthホームページより

飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX 32-9019 E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

ご不明な点は、市町村担当者、獣医師もしくは家畜保健衛生所までご相談ください。

< 発生源とは >

1 糞尿 - ハエの繁殖場所

- ・分娩ストールの床敷
- ・子牛用のペン及びハッチ
- ・病気の家畜を収容するペン
- ・ペンの湿った床敷とその下部
- ・豚舎スノコ床下の糞尿ピット
- ・ペンの隅(すみ)や縁(へり)
- ・鶏舎のケージ下に堆積した糞尿
- ・鶏舎のスノコ板の下に堆積した糞尿
- ・プロイラー鶏舎の床敷の下部
- ・ストールの隅(すみ)や縁(へり)
- ・積み上げられた糞尿の周りや、糞尿散布機に糞尿を積載する場所
- ・スクレイパー除糞後に残った糞尿の残渣
- ・貯留槽に浮かんだ糞尿の破片や固形物



2 飼料 - ハエの繁殖場所またはハエの摂食場所

- ・飼料貯蔵庫、飼料運搬ベルト、給餌器などの周りにこぼれて湿った飼料
- ・飼料貯蔵施設
- ・レール(手すり)や給餌器の下部
- ・飼料槽、飼料桶、堆積飼料などの縁(へり)
- ・バンカーサイロに積み上げられたサイレージの縁(へり)
- ・塔型圧縮サイロの下部とその周り
- ・乾草梱包の下部と縁(へり)
- ・給水器の下部とその周りの湿った床敷



3 その他のハエが密集する場所

- ・フェンス(柵)やレール(手すり)の下部、家畜運搬用台車や戸外のペンの隅(すみ)
- ・戸外のペンからの排水場所付近
- ・地表の水が流れ込む畜産施設内の湿った場所
- ・スタンション(繋ぎ飼い)の牛床の隅(すみ)やバークリーナー(排水溝)
- ・GPセンターなどの床面や糞尿上に落ちて割れた卵
- ・死んだ家畜や家禽(
- ・畜産施設、ペン、放牧場などの周囲にこぼれ出た床敷



・ハエの繁殖する場所をできるだけ作らないように清掃に心掛けることが第一ですが、清掃が難しい場所にはIGR剤を利用すると効果的です。

・ハエの摂食場所や密集する場所には、「ペイント オン ベイト法」(POB法)の利用が効果的です。

(方法) 有機リン系やカーバメイト系の食毒系薬剤と砂糖や酒、糖蜜などを混ぜて、天井、壁、柱のようにハエが好んでとまるところに塗るか吹き付けたり、毒餌を置いたりして殺虫する方法。

重要なポイントは、

- ・「殺虫効果を確実に」いかに夜間にとまっている場所や昼間に集まっている場所を確認すること。
- ・「長期間の残効性」希釈濃度をできるだけ濃くすること。
塗布面や吹き付け面などが乾燥したら、水を噴霧することで効果が復活します。